

## 夏休みに貴重な体験 公民館教室

町公民館で「夏休み子ども教室」が開催されました。

7月26日の「陶芸教室～小皿づくり」は、坂下明美さん(福島)を講師に迎え、33人が参加しました。正方形の粘土を丸や花の形に切り抜き、型に粘土を押しつけて成形した後、竹串で模様を描きました。花火や風鈴など夏の素材をお皿にデザインした神戸望来さん(新屋小6年)は「楽しく作成できました。家で使いたいと思います」と話しました。



先生のアドバイスを受けて小皿の制作をする参加者

美しい姿勢を意識しながら太鼓を打つ参加者



7月25日からは全10回の「親子和太鼓教室～子どものみ！親子で！太鼓に挑戦」がはじまりました。

8月8日には、和太鼓の基本リズムを復習した後、3人1組になり「龍神太鼓」の演奏の練習をしました。ドラムを習っているという塚本結吏さん(小幡小5年)は「これからもっと難しいリズムにも挑戦したい」とうれしそうに話しました。

8月12日の「親子手話教室～手話で話そう!」では、土筆信幸さん・悠さん(白倉)を講師に迎え、日常的に使うあいさつや指文字を使った自己紹介などの手話を学びました。

福島小5年生の友達同士で参加した山田華さんは「楽しく学べ、手話のことをもっと知りたいと思いました」、内藤柚さんは「手話に興味があり参加できてよかったです。耳が聞こえない人がいたら助けたいと思います」と話しました。



手話を繰り返し練習



「読書感想文にちょうせん!～読んで書いてみよう」(7月25日)



「おもしろ科学教室～カラフル海ほたるを作ろう」(7月27日)



「親子茶道教室～お抹茶を点てる、いただく」(8月3日)

# 県産木材の魅力を感じ 親と子の木工広場

第39回親と子の木工広場(富岡木材組合・町建設業協会・県建築業組合連合会甘楽支部主催)が7月21日、富岡製材協同組合プレカット工場(白倉)で開かれ、小学生と保護者33組76人が参加しました。参加者は、事前に用意した設計図を基にしたり、その場で木材を手に考えたりしながら、県産木材を使った作品づくりに挑戦しました。

母親と妹と参加した松本陽聖さん(新屋小4年)は「材料の大きさを測るのが難しかったけれど、木材をやすりで削ったり組み立てたりしたところが楽しかったです」と話しました。



親子で力を合わせて作品を作る参加者

8月2日から16日には、ら・ら・かんらで作品展が開かれ、棚やイスなど12点が展示されました。それぞれの個性や創意工夫が感じられる作品が並び、木材の持つ温かみや美しさなど、その魅力を訪れる人々に伝える場となりました。



力作が並んだ作品展

# 食を通じ絆を深める おやこの食育教室

甘楽町食生活改善推進協議会(柏葉栄子会長)は、7月22日・24日、にこにこ甘楽で「おやこの食育教室」を開き、2日間で18組46人が参加しました。

献立は「お肉と野菜の彩りプレート」「おくらの中中華スープ」「ラッシー(ヨーグルト飲料)」で、参加者は親子で協力しながら料理を作り、「食」の魅力やバランスの良い食生活について学びました。

金子音彩さん(福島小3年)は「おいしかったので、家でも作ってみたいです。野菜クイズが勉強になりました」と感想を話しました。



食改推会員のアドバイスをを受け、親子で料理に挑戦

# 養蚕文化を伝える



「マルベリー(くわの実)ソースづくり教室」が8月10日、ら・ら・かんらで開催されました。

町では、甘楽くわの実桑園(小幡)を活用し養蚕文化を次世代に伝承する取り組みを行っており、この日は、山田さゆりさん(小幡)を講師に迎え、8人の参加者がソースづくりに挑戦しました。

スリランカ出身のイシヤーリ・ニルミニさんは、「おいしかったです。家でもパンケーキなどにかけて家族や友人と食べたいです」と話しました。



マルベリーの軸を1つ1つ取り除きます

# 瓦を知って！高校生が地域おこしの火付け役に

高校2年生の武田陽菜乃さん(福島)と浅香杏優さん(福島)が、地場産業である「福島瓦」の伝統文化や技術力など多くの魅力を再認識し地元の人に知ってもらいたいと、甘楽福島瓦協同組合の協力を得ながら取り組みを行っています。

2人は、8月7日、ら・ら・かんらで群馬県立女子大学国際コミュニケーション学部の学生約30人に現状を説明し、地元で瓦の認知度を高めるためのアイデアを募りました。学生からは瓦を使ったイベント企画や新商品の提案、情報発信の仕方など、多様な視点からの意見がありました。

武田さんは「自分たちでは思いつかない提案もたくさんあり、貴重な機会になりました。今後は、小中学生に瓦を知ってもらう機会を作るなど、活動を通じて地域の魅力を再発見してもらえたらうれしいです」と笑顔で話しました。



アイデア出しのグループワークの様子を伺う武田さん(中央左)と浅香さん(中央右)

# 福島地区が熱戦を制す！地区対抗野球大会



第41回町地区対抗野球大会が7月21日、甘楽野球場で開かれました。規定の7回で決着がつかず、延長8回タイブレークの熱戦の末、福島地区が勝利しました。

◆成績 優勝 福島地区(左写真)  
準優勝 小幡地区

☆個人賞 最優秀選手賞 齊藤彰太(福島)  
【敬称略】殊勲賞 斉田竜輔(福島)  
敢闘賞 飯塚達也(小幡)

# 夏休みの子どもたちに笑いと元気を

新屋地区生涯学習推進協議会(金田倍視会長)と新屋地区子育て連(戸出いづみ会長)は共催で8月8日、新屋小学校体育館で、夏休み親子ふれあい活動としてイベントを開催しました。

子ども向けエンターテイナーとして活躍するせきあっしさんが大型の紙の一部をくり抜いたところから顔を出し、紙をめくりながらオリジナルの物語を展開する『人間紙芝居』などのパフォーマンスを披露。声色や表情などを変える豊かな表現力に会場が笑いに包まれました。

うちわであおぐと声が高くなったり低くなったりするコーナーに参加した野口楓介さん(新屋小6年)は「実際に参加できてうれしかった。人間紙芝居が一番おもしろかったです」と満面の笑みで話してくれました。



↑軽妙な話術とパフォーマンスの数々に、リアクションを返し楽しむ子どもたち

## 岡部さんの100歳を慶祝

岡部きわさん(大正13年8月10日生まれ・造石)が100歳の誕生日を迎えられ、8月10日に森平町長が特別養護老人ホームシルク(白倉)を訪問し、慶祝状と祝金を手渡しました。

岡部さんは吉井町(現高崎市)小棚の生まれで、若くして両親を亡くされた後2人の弟を育てました。造石に嫁いだ後は夫婦二人三脚で農業と養蚕業を営み、2男1女に恵まれました。

以前は町の料理教室に参加し、自宅でもそのメニューをよく振る舞っていたという岡部さんの長寿の秘訣は、「好き嫌いなく何でもしっかり食べること」。1年半ほど前に同施設に入所し現在は、風船バレーなどのレクリエーションに参加するなど、日々穏やかに過ごされています。



施設職員が飾り付けをした紅白幕の前で

## 消防団 競技大会で優勝！ 県大会出場

令和6年度富岡甘楽地区消防ポンプ操法競技大会が7月27日、富岡市北部運動公園北ゾーンで開かれました。

この大会は、消防団員が消防ポンプ自動車による放水操作のスピードと正確性、節度などの消防ポンプ操法技術を競い合う場で、甘楽町消防団からは、ポンプ車の部に第2分団第2部(22・23・24・25区)が出場し、見事優勝を果たしました。選手たちは、技術向上を目指し仕事の終わった夜間や休日を利用して練習を重ねてきました。

8月24日には、群馬県消防学校で行われた県大会へ地区代表として出場し、惜しくも入賞は逃しましたが、日頃の訓練の成果を存分に発揮した選手に会場内からは大きな拍手が送られました。



チーム一丸で競技に挑む

### 【ポンプ車の部】

2-2部の選手(敬称略)

指揮者	高田 淳
1番員(地区大会)	山田幸慶
1番員(県大会)	山田勇人
2番員	木田真澄
3番員	小池 拓
4番員	峯岸真司
補助員	渡邊貴宏



地区大会優勝！

## 商工会夏祭り 盛大に開催

商工会夏祭りが、8月14日、甘楽ふれあいの丘陸上競技場で5年ぶりに開催され、大勢の人でにぎわいました。

出店やキッチンカーには行列ができ、甘楽町音頭が流れる盆踊りが始まると踊りの輪もでき、大人も子どもも笑顔で踊る姿がありました。また、花火が夜空を彩ると周囲は歓声に包まれました。夏祭り・花火大会は人々の夏の思い出に刻まれ、地域の絆を深める大切な機会となりました。

